

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492400021	事業の開始年月日	平成18年9月1日	
		指定年月日	平成18年9月1日	
法人名	株式会社へいあん			
事業所名	グループホーム「へいあん小和田」			
所在地	(〒253-0012) 神奈川県茅ヶ崎市小和田3-3-25			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成27年12月26日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月3日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> ・施設ではなく、「家」として認知症を抱えた方が、安心して過ごせるようスタッフ一同がケアに当たっています。 ・鍵をかけず、いつでも外出ができる、一人ひとりの生活ペースに合わせた生活等、当たり前の日常を大切にしております。それは、認知症の方の尊厳と権利を守ることを何よりも重視します。 ・ご入居された方が抱える不安や、気がかりを「関わる」というケアによって、少しでも和らげられるようにしていくこと。これが私たちの仕事の使命です。
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、入居者の重度化が顕著となり、スタッフの介護スキルの向上、及び身体機能が重度化しても安心して生活できる環境づくりに努めています。 ・看護師、主治医等の医療連携、入浴リフトの導入、重介護に対応できる介護用品等、環境面で上記、重度化に対応できるよう整備を進めています。 ・また、「看取り」ケアの体制を整えております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下ビル9階		
訪問調査日	平成28年1月15日	評価機関 評価決定日	平成28年5月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、JR東海道線辻堂駅西口から徒歩約10分の表通りから少し入った住宅地に位置している。2階建ての1階には、法人の通所介護や居宅介護支援事業所、事務室があり、2階が1ユニットの当該事業所である。周辺にはコンビニエンスストアを始めドラッグストア、スーパーマーケットがあり、買い物などに便利である。ほか地域包括支援センターがあり、運営推進会議への出席などで連携している。</p> <p>【利用者の意向や思いに沿ったサポート】 法人の方針として「身体拘束をしない介護」を掲げて、身体拘束廃止委員会を設置している。各事業所に対して、身体拘束に該当するような事例があれば検討して防止に努めるように周知している。玄関は日中は施錠していない。フロア入り口は常時開放し、チャイムやモニターを設置して、人の出入りを職員の見守りで対応している。利用者が外出を希望する場合は、同行して見守り支援を行っている。</p> <p>サービスにおいては利用者を主体とし、利用者個々のホームであると考えている。一人ひとりの生活に寄り添って意向や思いを把握し、その実現をサポートするように努めている。広々としたリビングが確保されていることで、利用者も職員もゆったりと過ごしている様子が見受けられた。</p> <p>【医療連携と看取りの体制】 利用者の重度化に備え、医療機関と24時間連携体制を整えて「重度化した場合の方針」を契約時に説明し同意を得ている。看取りの事例はないが、職員は看取り介護について看護師による研修を受けて、いつでも対応できる心構えを持って日頃のサポートを実施している。職員は連携してケアにあたり、体位交換をきめ細かく行って褥瘡を防ぐなどにより医療行為が必要とならない状況を保っている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム「へいあん小和田」
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62			

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念と施設開設時にスタッフと掲げた行動指針を毎朝唱和。これに基づくケアの実践を日々心がけている。	法人の理念を踏まえて、事業所の開設時に皆で作った行動指針を、日頃から唱和して共有している。利用者を主体に考え、一人ひとりの思いや意向を最優先にして利用者をサポートしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会の行事等(盆踊り・敬老会等)に積極的に出向き、地域の住民の一人として参加意識を持っている。夏祭り等のイベントに近隣住人が参加していただけた。	自治会主催の盆踊りや、敬老会に参加している。地区の小学校の児童が、総合学習の授業で来訪している。近隣の高校生が来訪して、合唱をしたり、ハンドベルの演奏をしたりするのを併設のデイサービス利用者と楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	業所へかかってくる電話相談や問合せに懇切丁寧に対応し、認知症の理解の一端を担っていると自負している。今度は、地域の介護者教室にも協力参加。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎年、外部評価受審後の運営推進会議で、ご家族アンケートと共に議題として取り上げている。	運営推進会議は2か月ごとに開催している。事業所の運営状況や活動の報告だけでなく地域への情報発信や防災についての意見などを運営に活かしている。自治会長、民生委員、家族、地域包括支援センター職員、行政担当職員が参加している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村とは、利用状況、待機者情報を通じて、及び運営推進会議等を通して連携を密にとっている。	茅ヶ崎市の介護保険課地域密着型担当職員への運営推進会議の報告の際に情報交換をしている。市の福祉サービス事業所連絡会の地域密着型部会に参加している。3か月に1回開催される会議では情報交換や施設見学会があり運営に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束や虐待に対するコンプライアンスルールを掲示し、これを実践している。身体拘束に対する研修の実施やマニュアルの整備等を通して、スタッフへ周知し、ケアにおいて身体拘束をしないケアを実践してもらっている。	契約書等に身体拘束排除の方針を明記し契約時に説明している。身体拘束をしない介護が法人の方針であり、玄関やフロア入り口の鍵は日中施錠していない。車椅子使用の方は、食事の際などに椅子に移ってもらい座位をとるように努めている。毎年、身体拘束排除の職員研修をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1回は、虐待・身体拘束予防についての内部研修計画を立案し、これを実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記同様。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際は、十分な説明を行い、疑問・不安等を解消している。また、契約書改定、重要事項説明書改定に際は、家族会等を開催し、説明を行い、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等を開催。その際の要望等に迅速に答えている。	家族に毎月の近況報告書を送っている。利用者の生活の様子は写真により、医療情報や今後の予定、担当職員の一ロメモなどは文書で詳細に知らせている。毎年1回の家族会や行事などでの来訪時や電話連絡の際に意見や要望を聞きとり、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	半年に1回度のスタッフ面談、及び月に1回の業務会議を通して、職員の声を引き出し運営に反映させている。	管理者は、月1回のフロアミーティングやカンファレンスなどで職員の意見や提案を聞いている。6か月に1回、ヒアリングシートを職員に配布し個別面談を行い、要望や提案を聞き、運営などに反映している。職員からの要望を受けて、法人の研修制度を利用し、職員の資格取得に向けた支援をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上記同様。半年度のスタッフ面談等を通して、業務評価を行い、左記の内容についてスタッフ評価、意識付け等を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ個別に研修計画作成し、年間の内外の研修計画を通じて教育を実施。また、新人に対するOJTにおいては、日誌やチェックシート等を活用。年1回開催される法人内の研究発表大会にも参加し発表している（今年度は不参加）。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協会や茅ヶ崎市地域密着部会に所属し、研修等を通じて左記の取組みを実施。また、法人内の5施設において毎月1度のミーティングを通じた交流、情報交換、業務改善会議を実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(部分的に) センター方式を活用し、左記の内容をアセスメントに反映させている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始前に、管理者とケアマネがインテークを行い、利用者支援の視点で相談対応、情報提供等に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	左記の視点に立って、ケア方針を作成(ケアプランに反映)、援助を実践している。*余暇活動においても、左記視点にて「畑作業」「花壇作り」等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	「家族との絆を大切にする」を行動指針に盛り込んでいるとおりに、これを意識し実践している。*「絆のたより」を発刊、家族へ送付*状況報告書を毎月送付		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に馴染みの物を置いてもらったり、入居でそれまでの人間関係が途切れないよう配慮。リロケーションダメージの緩和に努めている。	利用者の馴染みのスーパーマーケットと一緒に買い物に行くなどの支援をしている。知人の訪問があった時は、居室に案内して湯茶の接待をしている。正月に家族と一緒に過ごすなど、利用者にとって大切な関係の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の人間関係はケアの大きな要素であると認識し、日常の支援において配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前は、施設に来所されスタッフや利用者とは歓談することがあったが、現在はほとんどない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。	アセスメントは事業所独自の「心身の情報シート」を活用して思いや意向の把握に努めている。意思の疎通が困難な利用者には、日頃のケアの際に表情や態度などのサインから読み取っている。申し送りノートなどに記録して職員間で共有し、ケアプランの作成やサービスの提供に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	上記同様、センター方式を一部活用し、左記内容のアセスメントを実施、ケアに反映させている。毎朝申し送り時に、必要があれば小カンファレンスを実施等。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当スタッフより、毎月情報シートを提出してもらい、モニタリング記録と合わせて、ケアプラン作成に活用している。	介護計画は、アセスメントで利用者ごとにニーズや課題を抽出して作成し、カンファレンスで職員の意見を聞いている。見直しは通常6か月ごと、状態が変化した場合はその都度実施している。計画は実施記録簿にファイリングされ、職員が内容を認識している。	記録様式を工夫するなどして、計画の目標や具体的サービス内容に沿った記録をつけ、モニタリングや見直しの根拠として活用することを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別ごとのサービス提供日誌を記載し、左記内容に取り組んでいる。細かな情報共有には、申し送りノートに記載しスタッフ間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループの社内資源も活用し、左記の内容に取り組んでいる。基本的には、自宅にいらっしゃる時と同じようにニーズに対応できることを旨としている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別の外出支援を実施し、左記に取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当グループホームとして協力連携病院を確保しているが、これにとらわれず、病院受診は、ご本人ご家族の要望に対応できている。現在2名の方には、個別で受診をしている。	協力医の往診は隔週にある。入居前からのかかりつけ医を受診している利用者は1名である。協力医以外の医療機関や整形外科、眼科、皮膚科などの専門医への外来受診は原則として家族対応としているが、職員が支援することが多い。訪問看護は、週1回来訪して健康管理などを行っている。歯科は必要に応じて随時往診がある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人事業部内の看護師と連携を取り、医療的な視点でのケアと観察を実施しており、介護スタッフと情報共有を図り、必要な医療的アドバイスを受けている。看護師による看取り研修も実施した。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中も病棟に出向き、担当ナースから病状把握や退院支援に対応している。また、入院加療において必要な生活情報、身体情報を提供している（家族同意を得て行っている）。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り指針を作成し、これに基づき、左記に対応している。同法人の看護師による看取り研修も実施した。	利用者の重度化に備え、医療と連携し「重度化した場合の方針」を定めて契約時に説明し職員にも周知している。看護師が講師となり、看取りについての心構えや基本的な注意事項の研修を行い体制を整えている。最新式のリフト浴設備の設置、重度の利用者に合わせた介護機材や車椅子の導入などで職員の介護負担の軽減に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	採用時研修において、救急対応、心肺蘇生等のスキルが身につくよう研修メニューに取り入れている。また、毎月のフロアミーティングの際にCPR訓練を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	基本的には、年に2回避難訓練等を実施。法人全体の取組みとし、施設防火チェックを、年4回実施。2か月に一度法人全体の「防災対策委員会」を開催し防災対策について話し合いの場を設けている。	防災訓練は、調査日時点で3回実施し、夜間想定訓練も行っている。職員の事業所集合所要時間別の名簿を作成し緊急時に備えている。災害備蓄は2か所に分けて、3日分以上の飲料水、食料を用意している。カセットコンロ・ガス、衛生用品、非常用医療品収納ザックなどの備品も保有して、備蓄リストで管理している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コンプライアンスルールを掲げ、左記内容をスタッフに周知し、これを実践している。	利用者の基本的人権擁護の研修を行っている。職員は、家族に利用者のプライバシーに関することを伝えるときは居室などで話している。スタッフ同士で情報伝達する場合は、利用者をイニシャルで呼んでいる。個人情報のある書類は施錠管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアの実践において「話を傾聴すること」「待つこと」を旨とし、「後追いのケア」を行い左記内容が実践できるよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	同上。日々の日課を決まったものにするのではなく、その日の方状態、ペースに合わせて過ごしてもらえるよう臨機応変に対応している。食事時間も極力その方の起床に合わせて提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの服を用意してもらい、その方の普段着をそれぞれに演出してもらっている。毎月、訪問理容にて散髪している。（希望者のみ）		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛付や後片付けを手伝ってもらい、スタッフとお客様が共同作業で食事作りを行っている。	食材と献立は専門業者に委託して、職員が調理している。利用者の状況に合わせて形態食を提供している。事業所の菜園で採れる季節の野菜を食材に入れることもある。職員は、利用者と同席して同じものを食べている。正月やクリスマス、雛祭、誕生会などでイベント食を楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1食ごとに個別に摂取量を記録し、これを観察し、健康管理に配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方の状態に応じた口腔ケアを実施。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄介助が必要になったり、紙パンツ等が必要になった方も、習慣的にできるだけ、トイレに座ってもらい、自力排泄ができるようケアしている。	個人記録にバイタルサイン、水分摂取、排泄状況などを記録し、総合的に判断して声かけやトイレ誘導している。失敗時はさりげなくトイレに誘導している。夜間帯は、深夜と早朝に定期巡回を行っており、利用者の様子を見てトイレ誘導することもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に毎朝乳酸菌飲料を提供。その他、個別に適宜「センナ茶」等をお出ししている。そのた個別に排便状況を観察し、やむを得ない場合は主治医に相談し、緩下剤を処方してもらっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	夕食前に入浴時間を設定し、個別に誘導。入浴を強要せず、無理強いせず、入浴剤を使用するなど、気持ちよく安心して入浴できるよう個別に創意工夫を行っている	入浴は通常週2回としているが、時間や回数の希望には柔軟に対応している。介護度の高い方は必要に応じてリフトを利用している。更衣室には衛生面に配慮して、利用者一人ひとりの脱衣ボックスを設置しており、着替えの取り違えも防止している。柚子湯や好みの入浴剤を楽しむ方もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疲れたら居室にて横になってもらう、眠れない時は、リビングで好きなだけ過ごしてもらおう等、臨機応変に対応しているが、日常生活の休息リズムにも個別に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬処方の説明書を個別ファイルに添付し、服薬情報をスタッフで共有している。また、変薬の際は、必ず申し送りノートに記載し、直ちに情報共有を行っている。症状変化についても個別サービス記録に記載。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式を一部活用し、左記内容を取り込んだケアプラン作成に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別に外出支援を実施（散歩、買い物等）。また、屋外歩行が困難な方にも、ドライブを楽しんでいただいたり、グループ単位で外出支援を行っている。	利用者の加齢や重度化に伴い、散歩の機会が少なくなっている。玄関先での外気浴などで気分転換をする場合もある。個別支援で近くのコンビニエンスストアなどに出かけている。歩行の困難な方も一緒にドライブに出かけ、季節の桜やあじさい見物などを楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族に相談しながら、一部のお客様において（能力を勘案し）実施。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	左記については、自由に積極的に行ってもらっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が作成した季節の飾り物などを工夫し、心地よく楽しく過ごせるよう配慮を行っている。スタッフが作成した利用者の似顔絵も飾り大変喜ばれている。	リビングは広く採光が良く明るい。利用者はゆっくりとくつろいで午前のひと時を過ごしていた。オープンキッチンになっており、調理しながらリビングや廊下などの見守りができる。床暖房と加湿器で温度・湿度の管理をしている。季節の飾りや花瓶に生けた胡蝶蘭が置いてあった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの配置を工夫し、左記について可能な限り配慮を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ち込んでもらい、居室については極力制約をなくし自由に使ってもらっている。	居室は広く、窓が大きく明るい。空調設備と照明器具、収納設備が備わっている。ほとんどの居室が南向きで明るく清掃が行き届いている。利用者はテレビ、家族の写真や仏壇、縫いぐるみ、使い慣れたタンスや家具調度品を持ち込んで入居前からの暮らしを継続できるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目立つように「洗濯場」等の掲示をしたりして、自らの役割を演習しやすいよう配慮を行っている。		

